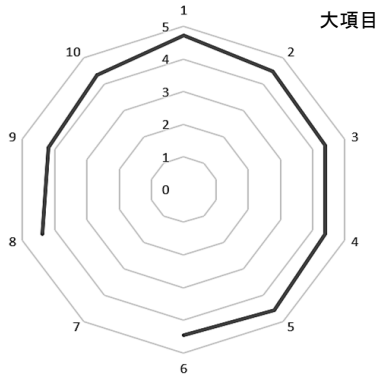
学校評価

令和7年度

大項目	中項目		平均
基準1 教育理念・目的・育成人材像	1-1	教育目標は教育理念・教育目的と一貫性がある	4.77
	1-2	教育理念・教育目的は学校の特色を示している。	4.77
	1-3	教育目標に要請する看護師が卒業時においてもつべき資質を明示している	4.62
基準2 学校運営	2-4	学校のビジョン及びそれを実現するための考え方を明示している	4.46
	2-5	教職員にビジョンや目標を理解され、教職員の提案を活かしている	4.15
	2-6	学校評価を組織的に実施し、改善計画を策定している	4.69
	2-7	運営会議が学校運営に関する議論の場として機能している	4.46
	2-8	教務会議が学年及び各看護学の指導や行事等、検討の場として機能している	4.62
基準3 教育活動	3-9	科目と単元の構成の考え方は教育理念・目的と整合性がある	4.56
	3-10	シラバスは学生が授業内容を理解しやすく授業内容と一致しているか	4.78
	3-11	単位修得の方法は教師・学生の双方がわかるように明示している	4.67
	3-12	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整している	4.11
	3-13	授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫・改善している	4.67
	3-14	学生による授業評価を実施し、授業の改善に努めている	4.56
	3-15	単位認定の評価基準と方法は公平性・妥当性が保たれている	3.67
	3-16	単位未修得科目の原因分析を学生と教員とで実施し、対応策を講じている	4.33
	3-17	実習目標に沿った実習指導体制を整っている	4.22
	3-18	臨地実習指導において学生評価を活用しながら指導の改善を図っている	4.44
	3-19	学生指導において学生に対して人権への配慮がされている	4.33
基準4 教育成果	4-20	中途退学者を少なくする工夫や努力をしている	4.54
	4-21	国試対策は教職員一丸となり個々の学生にあった指導・援助を実施している	4.62
	4-22	厚生連への就職率を高めるよう努めている	4.46
	4-23	卒業生への支援体制がある	4.08
基準5 学生生活への支援	5-24	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能している	4.46
	5-25	学生の心理面での健康管理体制が整っている	4.69
	5-26	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じている	4.54
	5-27	学生の自治会・ボランティア活動などの自主活動を支援している	4.46
	5-28	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われている	4.62
	5-29	保護者と適切に連携している	4.54
基準6 教育環境	6-30	教育目標達成に必要な施設・設備が十分整っている	4.46
	6-31	教育目標達成に必要な教材があり活用されている	4.54
	6-32	学生生活が円滑に生活できるように施設整備をしている	4.62
	6-33	学外研修等な教育体制を整備しているか	4.46
	6-34	防災に対する体制は整備されているか	4.23
基準7 学生の募集と受け入れ	7-35	学生募集活動は積極的に行われている	学生募集停止のため評価対象外
	7-36	ホームページは適時に更新し見やすくしている	
	7-37	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われている	
基準8 管理運営・財務	8-38	危機管理体制が整っている	4.23
	8-39	学生、講師、教職員の個人情報について保護されている	4.46
	8-40	組織体制は教育目標を達成するための権限や役割機能が明確になっている	4.54
	8-41	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.31
基準9 教職員の育成	9-42	学校の抱えている課題を踏まえた職場内研修を行っている	4.22
	9-43	教員が自己研鑽できる支援体制を整えている	4.33
	9-44	教員が専門性を発揮できるように教員の担当科目と時間数を配分している	3.89
	9-45	教員の研究活動を保障している	4.33
基準10 社会貢献	10-46	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っている	4.15
	10-47	学生のボランティア活動を奨励、支援している	4.54

＊令和8年4月より学生募集停止により、令和7年度から学生募集活動を行っていない。そのため基準7は評価対象外とした。



基準別平均値

基準	R7
1	4.72
2	4.48
3	4.39
4	4.38
5	4.55
6	4.46
7	評価対象外
8	4.38
9	4.19
10	4.35
平均	4.43

＜学校外有職者の意見＞

学校評価全体として学校における教育活動等の評価に基づき、今後の課題が出されているためそれに基づいて尽力していただきたい。学校評価の一部である授業評価が低い傾向にある。授業に対して自信をもって適切に学生指導をしていくことが課題である。学生の中には学習に不安が大きい者がいるため、カウンセリングだけでなく、学校全体でメンタルフォローができるよう取り組んで欲しい。

＜今後の課題＞（一部抜粋）

①教育活動の質の向上と教育の充実を目指した取り組みの継続

②今後の看護職の人材確保に向けた小・中学生など若い世代に看護を知る機会の取り組み